

# 下京区西部エリアの活性化を目指す検討会議

## 第6回 議事録

### 1. 日時

平成25年2月6日（水）15:00～17:00

### 2. 場所

京都市産業技術研究所2階ホール（下京区中堂寺粟田町91）

### 3. 資料

資料1 委員名簿

資料2-1・2-2 第5回検討会議のワークショップまとめ

資料3 今後の進め方について（素案）

### 4. 参加者

別紙参照

### 5. 議事録

#### (1) 開会

- 事務局：京都市総合企画局政策企画室・西窪課長

それでは、第6回下京区西部エリア活性化を目指す検討会議を始めさせていただきます。まず始めに、京都市建設局緑政課担当課長で、市のワーキング・グループ会議メンバーの的場課長から、先日広報発表しました梅小路公園の拡張再整備について御報告いたします。

- 京都市建設局水と緑環境部緑政課・的場課長

京都市建設局水と緑環境部緑政課梅小路公園再整備担当課長の的場でございます。どうぞよろしくお願いいたします。

お手元にお配りしております梅小路公園の拡張再整備報告資料を御覧ください。

梅小路公園は、昨年3月に京都水族館がオープンし、さらに前回の検討会議でも御報告いただきましたが、JR西日本から新たな鉄道博物館の整備計画が発表されました。また、近接する中央卸売市場第一市場では、8月にすし市場、12月には京の食文化ミュージアム・あじわい館がプレオープンするなど、下京区西部エリアが活気付きつつあります。

こうした中、梅小路公園の所管局として、下京区西部エリアの更なる活性化に向け、

公園利用者の賑わいづくりや憩いの場づくりを検討し、この度、同公園の拡張再整備計画を取りまとめました。今年度、京都市の公営交通が100周年の節目を迎えることを契機に、交通局で大切に保管していた市電を活用して、仮称ではございますが、「市電ひろば」と「すざくゆめ広場」の2つの広場を整備いたします。

お手元の資料別紙2に梅小路公園の施設配置図を添付しておりますので、こちらを御覧いただきながら、整備案について御説明いたします。

京都水族館の西側約700平米ほどをJR西日本からお借りし、「市電ひろば」を整備します。また、社宅跡地の西半分5700平米ほどをお借りして、芝生広場や遊具の新設を中心とした「すざくゆめ広場」を整備します。これら2つの広場の間に梅小路公園内のチンチン電車を移設し、広場の間を走行させます。

この「市電ひろば」には、明治・大正・昭和期と、年式の異なる7両の市電を活用し、又は展示します。このうち最も古い広軌1型を運行当時の姿のまま常設し、残る6両のうちの2両を総合案内所として活用します。この総合案内所のイメージとしては、梅小路公園内の案内だけでなく、梅小路公園からこの下京区西部エリアや他の市内観光地まで行くことを案内する役割を担ってもらうこととしております。

残りの4両につきましては、「市電ひろば」において貸店舗として活用し、活用に当たっては民間事業者から提案を募集します。

次に、現在運行中のチンチン電車については、京都のものづくりの力を生かして、地球環境にも優しい最新鋭の蓄電池を動力源とした車両に改造した運行とし、軌道敷についても、公園の環境に合わせて緑化します。

「すざくゆめ広場」には、芝生を敷き、市内最大規模の大型遊具を新設するとともに、カフェを設置します。梅小路公園は、多くの方にお越しいただいている割には、飲み物を摂りながら休憩したり、次の行き先を考えたりする場所が少ないという御意見を多数お聞きしていたので、これに答えてまいります。カフェの設置にも、民間活力の導入を図る予定としております。

以上の再整備の費用としては、約5億7000万円を見込んでおり、25年度予算として市会に提案いたします。予算が成立した後は、市電の展示活用・カフェ運営の事業者を募集し、平成26年1月の全面開業を目指して取り組んでまいります。引き続き御協力をよろしくお願いいたします。

- 事務局：京都市総合企画局政策企画室・西窪課長

それでは、ここからの進行は谷口座長をお願いいたします。

- 谷口座長

お忙しい中お集まりいただき、ありがとうございます。

今回で6回目の会議になります。昨年7月の終わりに梅小路公園で第1回目の検討会議を開いてから6箇月、今年度はまずは足元をしっかりと見つめようということで、委員の皆様の御提案を踏まえ、3回にわたって地域をしっかりと歩いて見て回りました。

本日はそれを踏まえながら、次年度に向けて活性化のアイデアを皆様から出していきたいと考えております。

加えて、このエリアをどうマネジメントしていくかが当検討会議の重要な柱の一つとなりますので、どうということをしていくのかというイメージを共有するため、委員の一人である高梨さんからエリアマネジメントについてお話しいただき、学びの部分も取り入れながら進めていきたいと思っております。

それでは、さっそく議事に入らせていただきます。

まずは議題の1番目、第5回検討会議のワークショップのまとめについて、事務局から御報告をお願いします。

#### －事務局から資料2－1・2－2

#### 「第5回検討会議ワークショップまとめ」について報告－

- 谷口座長

ありがとうございました。講演後の意見交換の際には、この資料も見ながらアイデアの引出しにしていただければと思います。

続いて、今後の進め方について事務局から説明をお願いします。

- 事務局：京都市総合企画局政策企画室・西窪課長

事務局から「今後の進め方」について御説明させていただきます。資料3を御覧ください。

まず、検討会議につきましては、来年度末、将来構想に向けた検討結果の報告書を取りまとめる予定としており、それに向けて、来年度は検討会議内にテーマ別の部会を設けて今年度の議論をさらに掘り下げ、活性化に向けた方策、将来像などを御議論いただきたいと考えております。

また、市民参加事業についても検討会議で御議論いただきたいところですが、時間的に困難ですので、検討会議では活性化に向けた本来の議論に軸足を置いていただいたうえで、年度末には成果報告会を兼ねたパネルディスカッションを開催し、市民の方にも御参加いただきたいと考えております。

市民参加事業としましては、まず、アイデア募集などを行ってまいります。エリアの新たな名称や将来像のキーワードなど、比較的考えやすく、今後も活用できるものを、市民の方々やエリア内の小中学生から募集してはどうかと考えております。

また、市民への情報発信として、ホームページやソーシャルネットワーキングサービスなども活用して、情報発信を行ってまいります。

秋頃には、エリア内の各施設の主催事業を可能な限り同時期に集約する形でイベントを開催したいので、検討会議に御報告しつつ、谷口座長とも調整させていただき、各委員の方々との連絡を密に取りながら、企画を進めてまいりたいと考えております。

その他の動きとしましては、将来構想の策定に向けた基礎資料ということで、エリ

アの現状等に関する基礎調査を実施いたします。その中で、来街者へのアンケートを実施したいと考えておりますので、その際は御協力をよろしくお願いいたします。

事務局からは以上でございます。

- 谷口座長

ただ今の事務局の説明について、御質問・御意見があればお願いします。

- 市村委員

私は嶋原商店街の理事長をしていますが、水族館ができるに当たり、自然発生的に6つの商店街の理事長・会長が「ほいっと七条」という形で集まりました。水族館ができることによって、角屋さんや中央卸売市場、西本願寺、東本願寺など、エリア全体としての絵を描きやすくなったことは、すごいことだと思います。

このエリアの範囲は我々商店街のイメージする範囲とぴったり一致しており、京都水族館ができることによって梅小路公園が拡張され、鉄道博物館もできるとなれば、まるで我々を応援してもらっているようで私としては非常に嬉しいので、先頭を切っただけで頑張りたいと思います。

市役所内部だけでなく、地域や市民の皆様に分かってもらえるような展開になればと思います。

- 谷口座長

どうもありがとうございます。我々にとって嬉しいエールとして伺いました。

今年度は委員間で議論していますが、来年度は外向けにも活動していくこととなりますので、具体的な取組を自治会や商店街とも一緒に進めていければと思います。

それでは、今後の進め方については、現時点ではこのような形とします。

次の議題に移ります。エリアマネジメントと下京区西部エリアの活性化として、NPO法人京都・地球みらい機構の高梨委員から御講演いただきます。

—高梨委員による講演「エリアマネジメントと下京区西部エリアの活性化」—

(別添パワーポイント資料参照)

- 谷口座長

ありがとうございました。

それではこれから、ほかの委員の皆様からも御意見を頂きたいと思います。ここからのグループ分けと議論の進め方について、事務局から説明をお願いします。

- 事務局：京都市総合企画局政策企画室・西窪課長

グループを二つに分けた想定としましては、一つ目は、イベントとその連携による賑わいづくりを中心に御議論いただくグループと、二つ目は、エリア内の集客・周遊

の仕掛けといった方法論を中心に御議論いただくグループでございます。それぞれ谷口座長と高梨委員に進行していただきます。よろしくお願いいたします。

## － 2 グループで意見交換 －

### ● 谷口座長

それでは、各グループの議論を簡単に紹介したうえで、全体で共有したいと思いません。

まず、私のグループについて、キーワードは「賑わい」でしたが、幅広い御意見が出ました。東本願寺の前の道路を思い浮かべていただきたいのですが、カーブの外側が道路で、直線が駐車スペースとなっていますので、ここを有効に活用できないかという意見が出ました。

また、エリア内には寺・公園など何千人・何万人が集まる施設がありますが、その後どこに行くのだろうかという問題意識が出てきました。これを調査することも一つの方法ですが、次にどこへ向かうかを我々から仕掛けられないかという意見も出ました。具体的には、自然観察など「自然」をキーワードとして、水族館から東西本願寺の池の生物の観察へと点と点をつないではどうかというアイデアが出ました。

また、そもそも誰にとっての賑わいを作り出そうとしているのかという問題提起がありました。300万人が訪れるという話が出ましたが、観光客のためだけの賑わいなのか、やはりエリア内に住んでいる人、京都市民にとって下京区西部エリアがどのような価値を持っているのかが大切ではないかという意見が出ました。訪れてよし、住んでもよしという、暮らしやすいエリアにすることが大切と感じました。

また、実際の活動として、梅小路公園で様々なイベントが行われており、先日もラーメンをテーマとするイベントに多くの人が集まるなど、ニーズに合えば集客の可能性は大いにあるようです。その方々をどう回遊させていくかがポイントと考えました。

さらには、よく活性化と言われるけれども、活性化の中身は一体何なのだろうかという意見がありました。この検討会議も、伝わり次第では事業者の収益のために動いているように誤解されかねないので、経済の活性化に加えて、事業者も一緒になって住民が暮らしやすい地域を作っていくために集まっているのだということを、地域にしっかりと伝えることが大切というお話が出ました。

個人的には、誰にとっての賑わいなのかという点では、暮らしている方、ここに勤めている方にとって愛着を持てる地域となることが大切だと思います。シビックプライドをどう形成していくかが重要で、それがなければ、300万人が来ても継続していかないと思います。

さらに、今年は新撰組結成150年に当たりますが、現時点では角屋さんだけの取組となっていますので、これをどう連携の中で盛り上げていけないかという投げ掛けがありました。我々のグループでの意見交換の概要は以上です。

- 高梨委員

我々のグループの議論を報告させていただきます。キーワードは「集客・周遊の仕掛け」でしたが、それを超えて話題が広がりました。

まず、市場では駐車場を解放していますが、この利用率が低く、水族館のホームページからも駐車場情報にたどりつきにくいので、この辺りを改善できればという意見が出ました。

また、今後このエリアには300万人が来ると言われていますが、これをいかに地域がサポートし、維持していくかが大切です。例えば、京都駅ビルでは、駅ビルに来れば常に何かがあるということを目指して取り組まれています。この姿勢は非常に重要だと思います。

また、地域を紹介するマップが必要ではないかということで作り方を議論しましたが、ハイテクとローテクが共に大切で、色々な方がアプリなどで参加しながら作り上げていく基盤を作り、このエリアに下宿している学生など、住んでいる方がそこに付け加えていく形にすることが大切ではないかという意見が出ました。単に地図があるだけでは氾濫しているマップに埋もれてしまいます。みんなでその情報を集めていくことが必要であると確認しました。

また、龍谷大学では、文部科学省が大学の課題として教育研究以外の取組の強化を掲げていることもあり、市民講座に取り組まれています。まち歩きを行う講座が大人気だそうで、例えば学生さんに御協力いただいて、このエリアに関するコンテンツを作ったりすれば、大学としても文部科学省の課題に対応することができるそうです。このように、お互いにメリットがある形にすることも大切です。

また、京都駅ビルでは、昨年8月に本願寺と一緒に夏まつりを開催され、今年も8月下旬に開催したいと考えられているそうです。この夏まつりへの参加など、検討会議が少しでも前進する具体的なプログラムに取り組むことが大切で、すぐできることなどを実際に作り上げ、情報発信を考えていくことが重要と考えます。

- 谷口座長

ありがとうございました。今の点を聞いて、皆様から御意見をお聞かせ願いたいと思います。

- 山本委員（京都府旅行業協同組合）

誰のための賑わいかということに感銘を受けました。このような会議の出す結論には表と裏があり、表として、例えばハードを整備して賑わいを作るとなっても、裏で冷めた人、地域の方は喜んでいないということがあっては良くありません。例えば、地産池消として、地元の商店で買い物をする、パートタイマーなどには地域の人を使うなど、地域の人と共に活動することを重要な側面として盛り込んでもらえたらありがたいと思います。

- 高梨委員

賑わいと地域を支援していくことは両輪であり、地域の人が生き生きと暮らすということは裏ではなく、まさに基本であると考えます。

例えば梅小路公園にナショナルチェーンのカフェが来たとしても、収益を地域に還元することを条件にするなど、梅小路公園は地域のための公園として活用していく、というような基本哲学がないと、この検討会議は市民に評価されないと思います。

- 谷口座長

山本委員の御意見はとても重要です。それに加えて、できることなら単に仲良しということだけでなく、切磋琢磨してニーズに合った施策を作り出していくという競争関係になればとも思います。

今年度の会議は本日が最後ですが、来年度には広くこのエリアの人々、京都市民、さらには来街者にとってこのエリアをどうするかという問い掛け、情報発信をしていきたいと思っています。それに当たっては、ここにおられる皆様が中心となります。ぜひ来年度も今年度より更に一步踏み出す会議にできればと思います。

- 市村委員

私から一言だけ。梅小路活性化委員会では、このエリアの6商店街と5つの小学校で、昨年12月に商店街店舗での1日店長体験などに取り組みました。今度、3月4日に梅小路小学校と西大路小学校で取り組みます。この事業を周知するためのチラシを作製するのですが、このチラシに、協力といった形で検討会議の名称を入れてはどうかと思います。

- 谷口座長

皆様がよろしければぜひともお願いしたいと思います。

－拍手で承認－

- 谷口座長

それでは事務局に進行をお返しします。

- 事務局：京都市総合企画局政策企画室・西窪課長

最後に、下京区役所からスタンプラリーの御案内をさせていただきます。

- 事務局：下京区役所地域力推進室・西山課長

下京区役所から事業のお知らせと御協力をお願いをさせていただきます。

下京区役所では、今年度、区内にある文化的価値のある建物等5箇所を回るスタンプラリーを3月16日に実施します。西日本鉄道株式会社、西本願寺、東本願寺の皆

様にはチェックポイントとさせていただくことに快く御協力いただきました。改めてお礼申し上げます。皆様におかれましても、今後とも引き続き御協力をよろしくお願いいたします。

- 事務局：京都市総合企画局政策企画室・西窪課長

今年度の検討会議は本日で最後になります。皆様におかれましては、来年度も引き続き御協力をお願いしたいと思っております。

来年度第1回目の会議日程につきましては、改めて御連絡させていただきますのでよろしくお願いいたします。本日はありがとうございました。

別紙

## 第六回参加者

(五十音順, 敬称略)

	団体名	役職名	氏名
座長	コミュニティデザイン研究室 同志社大学大学院総合政策科学研究科	代表 嘱託講師	谷口 知弘
	梅小路活性化委員会	委員長	市村 勝
	京都駅ビル開発(株)	取締役営業部長	奈倉 宏治
	京都市	下京区長	山本 耕治
	京都市	総合企画局政策企画室長	柴山 薫
	(公財)京都市景観・まちづくりセンター	事務局次長	齒黒 健夫
	京都市中央卸売市場第一市場	次長	林 眞佐男
	京都商工会議所	産業振興部まちづくり推進担当課長	外池 順一
	(公財)京都市都市緑化協会	専務理事	北村 康二
	(特活)京都・地球みらい機構	常務理事	高梨 日出夫
	京都府旅行業協同組合	理事長	山本 芳孝
	京都リサーチパーク(株)	営業開発部長	鈴川 和哉 (代理)
	自治連合会(大内自治連合会)	会長	中辻 正次
	浄土真宗本願寺派(西本願寺)	宗務所所務部<文書担当>課長・総長秘書	中井 真人
	真宗大谷派(東本願寺)	宗務所総務部次長	徳永 誠 (代理)
	(公財)角屋保存会	理事長	中川 清生
	(学)龍谷大学	学長室課長	花崎 正順

< 検討会議の様子 >

